

令和5年度 年間授業計画

学年	教科名	科目名（講座名）	単位数
3	国語	国語表現	2
担当教員			予定時数
尾山邦子			70

1 年間授業計画

	学 習 単 元	予定時数	学 習 内 容 ・ 指 導 目 標 等
1 学 期	○ 自分史を書く ○ 言葉の学習	14	・ 過去、どのような人と関わりを持ち、どのような生活をしてきたのか明らかにする。 ・ 故事成語、ことわざ、慣用句、わかりやすい表現を身に着ける。
	○ 歌の鑑賞文を書く ○ 本の紹介 POP の作成 ○ ペン習字	12	・ 読み手、聞き手を意識して文章の構成を考える。 ・ 歌や本の良さを相手に理解してもらえるように工夫する。 ・ 読み手を意識した文字を書けるようにする。
2 学 期	○ 詩歌の作成・紹介 ○ 古典の表現に学ぶ	24	・ 日本語の表現の特徴を捉え、詩歌を紹介する。 ・ 古典の表現を生かし、優れた表現を味わい文章を書く。 ・ 古典の作品を声に出して読む。
	○ 新聞の活用 ○ 現代若者言葉について調査・発表プレゼンテーション	12	・ 新聞記事を活用し、相手に理解してもらえるよう要約したり意見文を書く。 ・ 文章を読み上げるのではなく、相手に伝わるように、聞き手の表情を見ながら語りかける。
3 学 期	○ 手紙を書く	8	・ 前文、主文、末文、後付けの形式を理解し、相手の立場を踏まえて手紙を書く。 ・ 条件を設定して実用的な文章で手紙やハガキを書く。

2 使用教科書、補助教材、プリント等

「国語表現」（東京書籍）

3 評価の方法

授業への関心・意欲・態度、課題の提出や発表等を総合的に判断し評価する。

令和5年度 年間授業計画

学年	教科名	科目名（講座名）	単位数
3	国語	現代文A（自由選択現代文演習）	2
担当教員			予定時数
中西 保乃花			70

1 年間授業計画

	学 習 単 元	予定時数	学 習 内 容 ・ 指 導 目 標 等
1 学 期	小説演習 ・小説を徹底的に読む ・正しい読み方間違った読み方を理解する。 評論文演習 ・評論文を徹底的に読む ・テーマのを見つけ方・柱立て・文章構成を理解する。	32	「日本のデザイン」原研也／「京都嫌い」井上章一／「家族の痕跡」斎藤環／「遠いほど近くなる」米原万里／「恋愛及び色情」谷崎潤一郎／「時間と自己」木村敏／「流言のメディア史」佐藤卓己／「人工知能時代を〈善く生きる〉技術」堀内進之介
2 学 期	小説演習 ・テーマのを見つけ方を理解する。 ・心情把握を徹底的に学ぶ ・時代背景や小説の状況を読み解く。 評論文演習 ・書き出しと結論の関係を理解する。 ・論の展開方法のパターンを徹底的に学ぶ。 ・解説を聞き、間違いの理由が判るまでやり直す。	32	「わたしの文章作法／色のない画」佐多稲子／「〈狭さ〉の美学」近藤祐／「落語の中の経済学」大竹文雄／「不平等を考える－政治理論入門」齋藤純一／「個立の風景」浜田寿美男／「子どもにうったえる文章」石井桃子／「漱石を書く」島田雅彦
3 学 期	・解説を聞き、間違いの理由が判るまでやり直す	6	共通テスト国語現代文本試験問題演習・解説

2 使用教科書、補助教材、プリント等

第一学習社「新編現代文A」 桐原書店「ロジック現代文 私大過去問題演習〈マーク＋記述〉対策編」 いいずな書店「現代文単語」

3 評価の方法

隔週で小テストを行い、その平均点を得点とし評価する。また、学期に一度考査を実施し、得点を評価する。理解不十分な生徒には間違いの原因が理解できるまで、問題を検討させる。

令和5年度 年間授業計画

学年	教科名	科目名（講座名）	単位数
3	国語	現代文B（文系）	3
担当教員			予定時数
橋本 太郎 中西 保乃花 中澤 信弘 川上 文雄			90

1 年間授業計画

	学 習 単 元	予定時数	学 習 内 容 ・ 指 導 目 標 等
1 学 期	○ 評論「写真の持つ力」 ○ 小説「檸檬」	18	・筆者のものの見方の独自性を味わい、評論文の魅力を再認識する。 ・独特なものごとの把握の仕方や感性の世界をとらえて、小説の魅力を味わう。
	○ 評論「動的平衡」 ○ 問題演習	22	・本文で論じられた内容に対して、自身の価値観と比較し、自分なりの意見を持ち、言語化できるようにする。
2 学 期	○ 小説「骰子の七の目」 ○ 評論「言語が見せる世界」	21	・主題を把握して、物事の多面的な価値を考えさせる。 ・言語と認識の関係について筆者の意見を整理し、言語機能についての理解を深めさせる。
	○ 小説「タオル」 ○ 評論「リスク社会とは何か」 ○ 問題演習	22	・テーマを的確に捉え、他者の体験や心情を自己の問題として捉えなおす。 ・筆者独特の用語に注意し、リスクが社会に及ぼす影響について考えさせる。
3 学 期	○ 大学入試問題演習	7	・大学入試共通テスト対策、私大の過去問に取り組みせ、実践力を養う。

2 使用教科書、補助教材、プリント等

「現代文B」（第一学習社）／「国語図説」（京都書房）／「入試漢字2500プラス1」（京都書房）
 ／「げんたん 現代文単語」「最新国語頻出問題 1200（いっずな書店）」/錬成現代文 大学入学共通
 テスト対策新装版 尚文出版／ 文学のとびらを開く 近現代文学名作選 明治書院

3 評価の方法

定期考査の素点、小テスト等の素点、課題・ノート等の提出、授業態度から総合的に評価する。

令和5年度 年間授業計画

学年	教科名	科目名（講座名）	単位数
3	国語	現代文B（理系）	2
担当教員			予定時数
橋本 太郎 波多野 僚一			70

1 年間授業計画

	学 習 単 元	予定時数	学 習 内 容 ・ 指 導 目 標 等
1 学 期	○評論「写真の持つ力」 ・漢字小テスト ・問題演習	12	・筆者のものの見方の独自性を味わい、評論文の魅力を再認識する。 ・論じられている題材に関心を持ち、自分自身の問題としてとらえ、考える態度を養う。
	○小説「檸檬」 ・漢字小テスト ・問題演習	16	・独特なものごとの把握の仕方や感性の世界をとらえて、小説の魅力を味わう。 ・語りの在り方を通して、小説の構造を理解する。
2 学 期	○評論「動的平衡」 ・漢字小テスト ・問題演習	16	・評論の表現形式を理解し、その構造を把握する。 ・本文で論じられた内容に対して、自身の価値観と比較し、自分なりの意見を持ち、言語化できるようにする。
	○ 評論「リスク社会とは何か」 ・漢字小テスト ・問題演習	22	・抽象的、概念的な言葉を理解し、そのような表現と具体的な現実との対応を考えながら、読む態度を養う。 ・筆者独特の用語に注意し、リスクが社会に及ぼす影響について考えさせる。
3 学 期	・大学入試問題演習	4	・大学入試共通テスト対策、私大の過去問に取り組み、実践力を養う。

2 使用教科書、補助教材、プリント等

「現代文B」（第一学習社）／「国語図説」（京都書房）／「入試漢字2500プラス1」（京都書房） ／「げんたん 現代文単語」「最新国語頻出問題 1200（いっずな書店）」/錬成現代文 大学入学共通 テスト対策新装版 尚文出版／ 文学のとびらを開く 近現代文学名作選 明治書院
--

3 評価の方法

定期考査の素点、小テスト等の素点、課題・ノート等の提出、授業態度から総合的に評価する。

令和5年度 年間授業計画

学年	教科名	科目名（講座名）	単位数
3 学年	国語	古典 A	2
担当教員			予定時数
橋本 太郎 中澤 伸弘			70

1 年間授業計画

	学 習 単 元	予定時数	学 習 内 容 ・ 指 導 目 標 等
1 学 期	○大和物語 「をばすて」 ○源氏物語「桐壺」 ・ 古典常識小テスト ・ 問題演習	14	・ 昔話にみられる「姨捨」と人々の状況を理解する。 ・ 基本重要古語、助動詞、助詞を理解する。 ・ 敬語の種類、敬意の対象に注意して現代語訳する。 ・ 平安時代の結婚制度と人々の心のありようを知る。 ・ 桐壺の更衣の人物像を読み取る。
	○源氏物語「若紫」 ○漢文『四面楚歌』 ・ 古典常識小テスト ・ 問題演習	15	・ 登場人物の人間関係を読み取る。 ・ 文法事項に注意して、現代語訳する。 ・ 漢文の句法を再確認する。 ・ 漢文の句法に注意して、現代語訳する。 ・ 中国の思想について学ぶ。
2 学 期	○枕草子「木の花は」 ○大鏡「道真左遷」 ・ 古典常識小テスト ・ 問題演習	17	・ 作者のものの見方・考え方を理解する。 ・ 歴史物語の特徴を学ぶ。 ・ 道真の和歌や漢詩を通して心情を理解する。
	○蜻蛉日記「町の小路の女」 ・ 古典常識小テスト ・ 問題演習	20	・ 女流日記文学への理解を深めようとしている。 ・ 文法事項に注意して、現代語訳する。
3 学 期	○古今和歌集仮名序、真名序 ・ 古典常識小テスト ・ 問題演習	4	・ 和歌をどのようなものとしてとらえていたか理解する ・ 仮名序と真名序を比較し、理解を深める。

2 使用教科書、補助教材、プリント等

「古典A」（大修館書店）／国語図説（第一学習社）／「完全マスター古典文法」・演習ノート（第一学習社）／いづな古文単語 330（いづな書店）／「漢文の習得」・基本ノート（浜島書店）／プログレス 古典総演習 標準編（いづな書店）

3 評価の方法

定期考査の素点、提出物、小テストの素点、ノート提出、授業態度から総合的に判断して決める。

令和5年度 年間授業計画

学年	教科名	科目名（講座名）	単位数
3 学年	国語	古典B	4
担当教員			予定時数
尾山 邦子 中西 保乃花 波多野 僚一 星野 さゆり			128

1 年間授業計画

	学 習 単 元	予定時数	学 習 内 容 ・ 指 導 目 標 等
1 学 期	『源氏物語』「桐壺」 『大和物語』「をばすて」 ・問題演習 ・古文単語小テスト	28	・話の内容を大まかにつかむ練習をする。 ・基本重要古語を理解する。助動詞について復習する。 ・敬語の種類、敬意の対象に注意して現代語訳する。
	『源氏物語』「若紫」 『枕草子』「木の花は」 ・問題演習 ・古文単語小テスト	30	・登場人物の人間関係を読み取っている。 ・敬語の種類、敬意の対象に注意して現代語訳する。
2 学 期	『史記』項王の最期 (1) 四面楚歌 (2) 我何の面目ありて之に見えん 『蜻蛉日記』「町の小路の女」 ・問題演習・古文単語小テスト	30	・『史記』や歴史物語のおもしろさを読み取ろうとしている。 ・女流日記文学への理解を深めようとしている。 ・日記文学の概要を復習する。
	『古今和歌集』「仮名序」 『源氏物語』「須磨」 『大鏡』「道真左遷」 ・問題演習・古文単語小テスト	36	・敬語等に留意して自ら適切な口語訳が出来るように努める。 ・古典作品における和歌の概要や、人々の認識について理解を深める。
3 学 期	問題演習	4	・時間内に入試問題を正確に解答し、解説を聞き、各自の弱点を把握する。読解・問題形式に慣れる。

2 使用教科書、補助教材、プリント等

大修館書店「精選古典B改訂版」、第一学習社「新版三訂完全マスター古典文法」、
 いいずな書店「三訂版わかる・読める・解ける Key&point 古文単語 330」、
 いいずな書店「三訂版プログレス古文総演習標準編」、第一学習社「新訂総合国語便覧」

3 評価の方法

定期考査の素点、提出物、小テストの素点、ノート提出、授業態度から総合的に判断して決める。

東京都立小岩高等学校 令和5年度 教科〔地理歴史〕科目〔世界史B〕 年間授業計画

教科：〔地理歴史〕 科目：〔世界史B〕 単位数：〔4単位〕

対象学年組：〔第3学年2・5組選択〕

教科担当者：〔2・5組選択：住吉 貴之〕

使用教科書：〔山川出版社「詳説 世界史B 改訂版」〕

使用教材：〔第一学習社「グローバルワイド 最新 世界史図表 五訂版」〕

		指導内容	科目「世界史B」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	04/10-14	序章 先史の世界	人類の誕生から世界各地に地域世界が形成された過程を扱い、農耕・牧畜の始まり、都市文明の成立を経て、西アジア・地中海、南アジア・東南アジア、東アジア・内陸アジアの諸地域に、それぞれの自然環境に適応しながら独自の地域世界が形成されたことを把握させる。	【知】人類の進化の過程、オリエント世界における国家の興亡 【技】オリエントの地理的状況の把握 【思】文明形成に至る人類の進化の過程についての考察 【関】授業への参加、ノート作成状況	3 3
	04/17-21	第1章 オリエンと地中海世界 1 古代オリエント世界			
	04/24-28	2 ギリシア世界	オリエント文明の影響を受けたエゲ文明を経て、ポリスを中心とするギリシア文明が形成されたことを把握させる。また、ギリシア文明はアレクサンドロスの遠征で西アジア一帯に伝えられるとともに、ローマ文明にも深い影響を与えたことに着目させる。さらに、都市国家から出発した	【知】古代民主政の形成の過程 インド古代文明の形成 【技】南アジアの地理的状況の把握 【思】民主政形成の要因の探究 インド宗教の現在への影響 【関】授業への参加、ノート作成状況	4 4 5
5月	05/01-12	3 ローマ世界			1
	05/15-22	第2章 アジア・アメリカの古代文明 1 インドの古代文明 《《 中間考査 》》			3 5
	05/29-31	3 中国の古典文明	東アジアの農耕地帯に成立した中華文明と内陸アジアの乾燥地帯に台頭した遊牧国家の動向を中心に、日本を含む東アジア世界と内陸アジア世界の形成過程を概観させ、両世界の密接な関係に気付かせる。まず、東アジアは主にモンスーン気候地帯に属し、農耕を中心とした生業が営まれてきたことをつかまさせる。次に、黄河・長江流域などの新石器文化と殷・周の成立に触れ、漢字の起源など中華文明の重要な要素がこの時期に現れたことに気付かせる。さらに、春秋戦国時代の経済や文化の発展、秦・漢帝国の成立と皇帝を中心とした統治体制の特質、周辺諸国との冊封関係などを扱い、中華文明に依拠する東アジア世界の骨格が形成されたことに着目させる。	【知】中国国家の興亡 中国周辺民族の把握 【技】東アジアの地理的状況の把握 【思】中国と周辺民族との関係性の形成の背景を考察 【関】授業への参加、ノート作成状況	3 1 3 4
6月	06/01-02	第3章 内陸アジア・東アジア世界の形成 1 草原の遊牧民とオアシスの定住民			1
	06/05-09	2 北方民族の活動と中国の分裂			3
	06/12-16	3 東アジア文化圏の形成			4
	06/19-23	第4章 イスラーム世界の形成と発展 1 イスラーム世界の形成 2 イスラーム世界の発展 3 インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化	7世紀の西アジアの情勢とムハンマドの活動に触れ、イスラームの成立の背景と特質をつかまさせる。カリフの指導下にアラブ・ムスリムによる征服活動が行われ、ウマイヤ朝の時代には内陸アジア西部から北アフリカ、イベリア半島に至る広大な地域が支配下に入り、さらにアッバース朝のもとでイスラーム法に基づく国家体制が確立したことを理解させる。また、海城・内陸ネットワークの要衝に位置する港・都市を結ぶ交通路の安全が確保されたことにより、ムスリム商人を中心とする交易活動が活性化したことにも気付かせる。次に、アッバース朝の政治的衰退に伴って、9世紀以降帝国の統一性は失われるものの、経典コーランのアラビア語での説諭と、経済・文化の交流を通じて諸地域世界のムスリムの連携が維持されたことに着目させる。	【知】イスラームの発展、イスラームのアラブ民族以外への浸透 【技】イスラームの地理的状況の把握 【思】イスラームの発展についての考察、現在の世界情勢との比較 【関】授業への参加、ノート作成状況	4 4 4
06/25-30				1	
7月	07/03-07	《《 期末考査 》》			
8月					
9月	09/04-08	第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展 1 西ヨーロッパ世界の成立	ゲルマン人の活動やイスラーム勢力の進出により地中海世界の政治的統一性が失われた後に、キリスト教を共通の基盤とするヨーロッパ世界がそれぞれの地域性を保ちながら東西に形成され、展開していった過程を把握させる。	【知】古代ヨーロッパの国家興亡 キリスト教の浸透 【技】ヨーロッパの地理的状況の把握 【思】カトリックの浸透による欧州の人々の精神的状況の考察 【関】授業への参加、ノート作成状況	4 3
	09/11-14	3 西ヨーロッパ中世世界の変容			5
	09/22-29	第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開 1 トルコ化とイスラーム化の進展	内陸アジアの動向がユーラシア諸地域の交流と再編に果たした役割を、内陸アジア諸民族の活動を通して大局的にとらえさせる。		
10月	10/02-06	2 東アジア諸地域の自立化 3 モンゴルの大帝国			4
	10/10-16	第12章 アジア諸地域の動揺 1 オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容 《《 中間考査 》》	モンゴルが13世紀に内陸アジア諸都市のネットワークを掌握し、朝鮮半島からロシア平原に及ぶ広大な地域を支配するに至った過程を概観させるとともに、その世界帝国はもともと元を中心とした諸ハン国との連合体に再編されていったことをつかまさせる。そして、元が中国の南宋を滅ぼしてからは、海城のネットワークをも支配下に入れ、ユーラシアを海城と内陸で循環する交通・交易体系をつくり上げたことを把握させる。	【知】モンゴルによるユーラシア内陸ネットワークの形成 【技】ユーラシア大陸の地理的状況 【思】ネットワークの形成による世界の状況の変化についての考察 【関】授業への参加、ノート作成状況	4 4 1
	10/17-20				1
	10/23-27	2 南アジア・東南アジアの植民地化 3 東アジアの動揺	19世紀後期から20世紀初期までの世界を扱い、工業化の進展に伴う国家・社会の変化を理解させ、帝国主義時代の世界の動向と社会の特質について考察させる。	【知】帝国主義拡大の推移と両大戦の状況 【技】植民地の状況の把握 【思】帝国主義拡大の背景、社会主義成立の背景について考察 【関】授業への参加、ノート作成状況	4 1
10/30-31	第13章 帝国主義と列強の展開				
11月	11/01-02	2 世界分割と列強対立 3 アジア諸国の改革と民族運動			2
	11/06-10	第14章 二つの世界大戦 1 第一次世界大戦とロシア革命 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3 アジア・アフリカ地域の民族運動 4 世界恐慌とファシズム諸国の侵略 5 第二次世界大戦	第一次世界大戦から第二次世界大戦までの世界を扱い、国際社会の変遷と大衆社会の出現を理解させ、20世紀前半の世界の動向と社会の特質について考察させる。第一次世界大戦については、大戦の勃発に至る経緯、総力戦としての性格、大戦後の世界の変化などについて、多角的にとらえさせる。次に、ロシア革命とそれによって成立したソヴィエト連邦が世界に与えた影響とその後の国際秩序の変化に触れる。	【知】現代の世界の形成について 日本を基軸に据えた世界の動向 【技】日本と世界の資料の解析・比較 【思】経済面から日本の状況の推移及び今後の日本の立ち位置を考察 【関】授業への参加、ノート作成状況	4 4 4 3
	11/13-17				4
	11/20-24				3
11/27-30	第15章 冷戦と第三世界の独立 戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立 《《 期末考査 》》	第二次世界大戦終結から1960年代までの世界を扱い、米ソの冷戦体制、アジア・アフリカ諸国の独立、平和共存の模索などを理解させ、国際的視野からこの時期の世界の動向について考察させる。第二次世界大戦後、東欧諸国に社会主義政権が誕生しソヴィエト連邦の影響力が拡大すると、アメリカ合衆国が西欧諸国への経済援助を強化して、「対ソ封じ込め」を図ったことに触れる。米ソ両国が核兵器の力を背景にしつつ、それぞれ経済協力と集団安全保障の体制を樹立して自陣営の強化を図る中で、対立関係が非ヨーロッパ世界にも拡大し、朝鮮戦争など様々な紛争を引き起こしたことを理解させる。この時期、西欧諸国や日本では、アメリカ合衆国の支援と安定した国際貿易体制に支えられ経済復興を成し遂げることや、その後、西ドイツ・日本では高い経済成長が見られたことに着目させる。			
12月	12/04-08				1
1月	01/10-15	2 米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興 3 第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り			3
2月					
3月					

【知識及び技能】
世界の歴史の大きな枠組と展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】
世界史の事象の意味や特色などを、現代世界とのつながりなどに着目して、現代社会の課題の解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
世界史の諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養い、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

令和5年度 年間授業計画

学年	教科名	科目名（講座名）	単位数
3年	地理・歴史	日本史B	4
担当教員			予定時数
松尾 西村 野原 高沢			140

1 年間授業計画

	学 習 単 元	予定時数	学 習 内 容 ・ 指 導 目 標 等
1 学 期	1 日本文化のあけぼの	20	*文化のはじまり・農耕社会の成立 *古墳とヤマト政権・飛鳥の朝廷 *律令国家の成立・平安京の時代
	2 律令国家の形成		
	3 貴族政治と国風文化	20	*摂関政治・荘園と武士 *院政と平氏の台頭 *鎌倉幕府の成立・武士の社会・蒙古襲来と幕府衰退
	4 中世社会の成立		
2 学 期	5 武家社会の成長	35	*室町幕府の成立 *幕府の衰退と庶民の台頭 *戦国大名の登場 *織豊政権・幕藩体制の成立と構造
	6 幕藩体制の成立		
	7 幕藩体制の展開	35	*幕政の安定と経済の発展
3 学 期	8 幕藩体制の動揺	20	*幕政の改革・幕府の衰退

2 使用教科書、補助教材、プリント等

山川出版社 詳説日本史B 浜島書店 新詳日本史

3 評価の方法

*定期考査、小テスト、課題提出、授業の取り組みを総合的に評価する。

令和5年度 年間授業計画

学年	教科名	科目名（講座名）	単位数
3年	地理・歴史	自由選択日本史演習	2単位
担当教員			予定時数
西村、松尾			70

1 年間授業計画

	学 習 単 元	予定時数	学 習 内 容 ・ 指 導 目 標 等
1 学 期	占領下の日本 激動する世界と日本文化	16	占領と改革、冷戦の開始と講和 55年体制、経済大国への道 冷戦の終結と日本社会の変容
	問題演習 近代、現代	16	近代国家の成立、二つの世界大戦とアジア占領下の 日本、高度成長の時代
2 学 期	問題演習 原始、古代、	16	日本文化のあけぼの、律令国家の形成、 貴族政治と国風文化、
	問題演習 中世、近世	16	中世社会の成立中世社会の成立、武家社会の成立
3 学 期	まとめ	16	受験に対する備え

2 使用教科書、補助教材、プリント等

詳説日本史 B 山川出版社、
 図説 日本史通覧 帝国書籍、
 センター試験対策 チェック&演習日本史 B 数研出版株式会社

3 評価の方法

*歴史的事実を正しく把握することができたか、各時代における歴史的特質を理解できたか、歴史的 思考力を身につけることができたか等の観点について、授業への参加態様・定期考査・提出課題等を通して総合的に評価する。

令和5年度 年間授業計画

学年	教科名	科目名（講座名）	単位数
3	地理歴史	地理 B	4
担当教員			予定時数
金城			110

1 年間授業計画

	学習単元	予定時数	学習内容・指導目標等
1 学 期	・地理学習について 第Ⅰ部 さまざまな地図と地理的技能 1章 地理情報と地図 2章 地図の活用と地域調査	5	・地理学習の着眼点について学ぶ。 ・様々な時代や多種類の地図の読図を通じて、各時代の人々の歴史観や、地図の有用性について気付く。
	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境 2章 資源と産業	45	・世界の地形の成因や分布について学習し、災害と恩恵など人間生活とのかかわりを考察。 ・気候の要素と因子の関係からその成り立ちを学び、気候の人間生活への影響を考える。 ・産業の発達と変化について、自然環境のかかわりやグローバル化の視点から考察する。 ・偏る資源の分布と利用、資源エネルギー問題について学ぶ。 ・農林水産業の現状と課題について考察する。 ・工業の発達や立地条件や世界の工業地域・現状と課題について学ぶ。
2 学 期	3章 人口、村落・都市 4章 生活文化、民族・宗教	23	・村落・都市の立地と発達について、都市・居住問題について、その仕組みを発展途上国・先進国・日本などの事例で考察する。 ・生活文化の画一化や、民族と宗教・言語についてその分布と生活とのかかわりを学ぶ。
	第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 1章 現代世界の地域区分 2章 現代世界の諸地域	27	・現代世界の国家について、国境と領域の決まりや国家の分類、領域問題について学ぶ。 ・地誌の考察方法について学び、形式的な地域区分に基づいて、その中から適当な国家を選び、具体的に比較考察する。
3 学 期	3章 現代世界と日本	10	・現代世界における日本の特色について、多面的・多角的に考察し、日本が抱える地理的課題について探求する。

2 使用教科書、補助教材、プリント等

教科書：新詳地理B 帝国書院
新詳高等地図 帝国書院
補助教材：地理図表、地形図、世界国勢図会、センター対策問題集など。
プリント：随時テーマに沿って作成し使用する。

3 評価の方法

1. 現代世界の特色や諸課題を、地域性を踏まえて考察することができるか。
2. 資料や地図を読んだり作成する能力を身につけたか。
3. 定期考査の成績、授業や課題・提出物に対して真面目に取り組んでいたか。

令和5年度 年間授業計画

学年	教科名	科目名（講座名）	単位数
3	公民	現代社会	3
担当教員			予定時数
村田慎一郎・松尾繁樹・池田耕平・玉川春治			105

1 年間授業計画

	学 習 単 元	予定時数	学 習 内 容 ・ 指 導 目 標 等
1 学 期	第1編 現代に生きる私たちの課題 第2編 現代の社会と人間としての在り方生き方 第1章 現代社会の特質と社会生活の変化 第2章 現代に生きる青年	18	現代社会における諸課題「生命」／生命の尊重／人間の尊厳と平等／他者と共に生きる倫理 青年期と自己の形成 現代社会における諸課題「情報」／民主社会において自ら生きる倫理・個人と社会の関係 政治参加の重要性・世論形成の意義／民主主義／民主主義
	第2編 現代の社会と人間としての在り方生き方 第5章 現代の民主政治と私たちの生活 第7章 現代に生きる倫理	22	政治参加の重要性・世論形成の意義／民主主義／民主主義 基本的人権の保障／個人の尊重／国民の権利の保障／立憲主義と日本国憲法の役割 法の支配と法や規範の意義及び役割／自由・権利と責任・義務 民主社会における個人と国家／（天皇の地位と役割）／地方自治／国家とは何か、国民とは何か／公共の精神と公共性
2 学 期	第2編 現代の社会と人間としての在り方生き方 第3章 現代の経済社会と私たちの生活	21	現代の経済社会の変容／経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連 現代社会における諸課題「環境」／政府の役割と財政・租税／公害の防止と環境保全／個人や企業の経済活動における社会的責任／消費者に関する問題 市場経済の自由と限界・私法の基本的な考え方／雇用と労働問題／社会保障 金融・金融制度と資金の流れの変化／経済における相互依存関係の深まり／地域的経済統
	第2編 現代の社会と人間としての在り方生き方 第4章 国際経済の動向と日本の役割 第6章 国際政治の動向と日本の役割	22	人種・民族問題・文化や宗教の多様性・固有の文化を尊重する態度／南北問題など国際社会における貧困や格差／国際平和、国際協力や国際協調を推進する上での国際的な組織の役割／国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方 平和主義と我が国の安全／人権、国家主権、領土に関する国際法の意義／核兵器と軍縮問題／我が国の安全保障と防衛及び国際貢献
3 学 期	第2編 現代の社会と人間としての在り方生き方 第7章 現代に生きる倫理 調査研究等の学習活動	7	政府の役割と財政・租税／共に生きる社会を目指して

2 使用教科書、補助教材、プリント等

『高等学校 新現代社会』（帝国書院）、『フォーラム現代社会2023』（とうほう）
その他、適宜、プリントや資料を配布する。DVD視聴により理解を深める。
（担当教員の判断により、内容の取り扱いを工夫して実施する。）

3 評価の方法

- ・年間4回の考査の点数と提出物、授業への取り組み方を重視。
- ・現代社会の諸事象について、自ら主体的に考え、行動する力を身につけることができたか。
- ・現代社会の諸事象に関する、基礎的な知識を習得することができたか。

令和5年度 年間授業計画

学年	教科名	科目名（講座名）	単位数
3年	数学	数学 I	2
担当教員			予定時数
清水			70

1 年間授業計画

	学 習 単 元	予定時数	学 習 内 容 ・ 指 導 目 標 等
1 学 期	第1章 数と式	16	整式の加減乗除、乗法公式、因数分解、有理数・実数・絶対値、平方根、1次不等式、絶対値と方程式・不等式、2次方程式、集合
	第2章 2次関数 第3章 図形と計量	16	2次関数のグラフ、連立方程式、2次関数の決定、最大・最小、2次関数と2次方程式、2次不等式、2次方程式の解の存在範囲、鋭角の三角比、相互関係、鈍角の三角比、三角比と方程式、三角比の応用
	第3章 図形と計量 第4章 データの分析 第5章 場合の数と確率	16	正弦・余弦定理、平面図形の面積、データの分析、代表値、データの相関、集合と要素の個数、場合の数、順列、組合せ、同じものを含む順列
2 学 期	第5章 場合の数と確率 第6章 整数の性質	16	確率の基本性質・余事象の確率、独立試行、反復試行、確率の計算、条件付き確率、約数と倍数、整数の除法、ユークリッド互除法、二元一次不定方程式、n進法
	第7章 図形の性質	6	直線と角、三角形の辺と角の大小、三角形の五心、メネラウス・チェバの定理、円周角の定理、円に内接・外接する四角形、接弦定理、方べきの定理、2つの円の位置関係

2 使用教科書、補助教材、プリント等

東京書籍 WIDE 数学 I + A

3 評価の方法

- ・数学 I で学んだ基本事項を十分理解しているか、また、既習事項を活用し、発展的な問題に取り組むことができるか。
- ・小テストや定期考査の結果を中心に、平素の授業態度や出席状況、及び提出物等を考慮の上に評価する。

令和5年度 年間授業計画

学年	教科名	科目名（講座名）	単位数
3年	数学	数学Ⅱ	2
担当教員			予定時数
清水			70

1 年間授業計画

	学 習 単 元	予定時数	学 習 内 容 ・ 指 導 目 標 等
1 学 期	第1章 いろいろな式	16	整式の乗法・除法、約数と倍数、分数式の計算、二項定理、恒等式、等式・不等式の証明、式の値、複素数、2次方程式、2次方程式の解と係数の関係、剰余の定理と因数定理、高次
	第2章 図形と方程式 第3章 三角関数	16	直線の方程式、2直線の平行・垂直、2直線の交点を通る直線、点と直線の距離、円の方程式、円と直線、円の接線、軌跡、領域、三角関数の相互関係、グラフ、三角関数を含む方程式・不等式
2 学 期	第3章 三角関数 第4章 指数関数と対数関数 第5章 微分と積分	16	加法定理・2倍角、半角の公式、加法定理の応用と3倍角の公式、三角関数の合成、最大・最小、指数法則、指数関数、対数の性質、対数関数、常用対数、微分係数と導関数、接線の方程式、関数の増加・減少、方程式・不等式への応用
	第5章 微分と積分 第6章 数列	16	不定積分、定積分、面積と定積分・応用、数列とその項、等差数列の一般項、等差数列、等比数列、 Σ 、階差数列、漸化式、数学的帰納法
3 学 期	第7章 ベクトル	6	ベクトルの和・差・実数倍、成分、ベクトルの内積、三角形の面積、位置ベクトル、ベクトル方程式、空間ベクトル

2 使用教科書、補助教材、プリント等

東京書籍 WIDE 数学Ⅱ+B

3 評価の方法

- ・数学Ⅱで学んだ基本事項を十分理解しているか、また、既習事項を活用し、発展的な問題に取り組むことができるか。
- ・小テストや定期考査の結果を中心に、平素の授業態度や出席状況、及び提出物等を考慮の上に評価する。

令和5年度 年間授業計画

学年	教科名	科目名（講座名）	単位数
3年	数学	数学Ⅲ	6
担当教員			予定時数
松本・清水			210

1 年間授業計画

	学 習 単 元	予定時数	学 習 内 容 ・ 指 導 目 標 等
1 学 期	1章 平面上の曲線	38	放物線、楕円、双曲線、平行移動、媒介変数表示、極座標等
	2章 複素数平面		複素数平面、極形式 ド・モアブルの定理、図形への応用
	1節 複素数平面		
	2節 複素数の応用		
1 学 期	3章 関数と極限	38	分数関数・無理関数とそのグラフ、逆関数と合成関数
	1節 関数		
	2節 数列の極限		数列の極限、無限等比数列、無限級数、無限等比級数 関数の極限、三角関数と極限、関数の連続性
	3節 関数の極限		
4章 微分	導関数、積・商の微分法、合成関数の微分法		
1節 微分法			
2 学 期	2節 いろいろな関数の導関数	53	三角関数・対数関数・指数関数の導関数、高次導関数
	5章 微分の応用		三角関数・対数関数・指数関数の導関数、高次導関数 最大・最小、方程式・不等式への応用、速度・加速度
	1節 接線、関数の増減		
2節 いろいろな微分の応用			
2 学 期	6章 積分とその応用	53	不定積分とその基本公式、置換積分・部分積分 定積分の置換積分・部分積分、区分求積法
	1節 不定積分		
	2節 定積分		
3 学 期	3節 定積分の応用	26	面積・体積、曲線の長さ

2 使用教科書、補助教材、プリント等

東京書籍 数学Ⅲ STANDARD
東京書籍 WIDE 数学Ⅲ

3 評価の方法

数学的な言葉や意味を的確に理解できているか、計算が正しくできているかを定期考査の結果を中心に、平素の授業態度や出席状況、及び提出物等を考慮の上に評価する。

令和5年度 年間授業計画

学年	教科名	科目名（講座名）	単位数
3 学年	数学	数学A（自由選択 共通テスト数学Ⅰ・A）	2 単位
担当教員			予定時数
松井			70

1 年間授業計画

	学 習 単 元	予定時数	学 習 内 容 ・ 指 導 目 標 等
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 数と式 集合と論証 	12	<ul style="list-style-type: none"> 展開。因数分解 無理数の計算 方程式・不等式 集合、命題、必要条件と十分条件
	<ul style="list-style-type: none"> 2次関数 図形と計量 	12	<ul style="list-style-type: none"> 放物線の頂点。移動 最大・最小 三角比の式の値 正弦定理、余弦定理 ・ 円に内接する四角形 三角形の解法 ・ 四面体
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> データ分析 場合の数と確率 	19	<ul style="list-style-type: none"> 代表値と標準偏差 ・ 四分位数と箱ひげ図 集合の要素の個数 順列・組合せと確率
	<ul style="list-style-type: none"> 整数の性質 図形と計量 	19	<ul style="list-style-type: none"> 約数の個数 ・ 最大公約数と最小公倍数 余り ・ 循環小数 ・ 整数の性質の証明 三角形、円の性質 ・ 角の二等分線と線分の比 立体
3 学 期	入試問題による演習等	8	共通テスト、私大入試問題 等

2 使用教科書、補助教材、プリント等

・短期集中ゼミ数学Ⅰ+A（実教出版）

3 評価の方法

・数学Ⅰ、数学Aで学んだ基本事項を十分理解しているか。
 ・基礎問題、授業中に扱った問題が解けるかどうか。
 定期考査、平素の授業態度や出席状況、及び提出物等を考慮の上に評価する。

令和5年度 年間授業計画

学年	教科名	科目名（講座名）	単位数
3年	数学	数学B（数学演習）	2
担当教員			予定時数
荒木 清岡			70

1 年間授業計画

	学 習 単 元	予定時数	学 習 内 容 ・ 指 導 目 標 等
1 学 期	数と式・2次方程式/2次関数/図形と計量	12	テキストの練習問題や実践問題などを用いて、受験問題を解ききるための力を確実に身に付ける。
	集合と論証/データの分析/場合の数と確率/整数の性質/図形の性質/方程式・式と証明/図形と方程式	12	テキストの練習問題や実践問題などを用いて、受験問題を解ききるための力を確実に身に付ける。
2 学 期	三角関数/指数関数・対数関数/微分と積分/数列/ベクトル	19	テキストの練習問題や実践問題などを用いて、受験問題を解ききるための力を確実に身に付ける。
	完成問題による演習等	19	テキストの完成問題を用いて、より実践的な入試問題に触れることで解法のテクニックや粘り強く考える力を身に付ける。
3 学 期	入試問題による演習等	8	共通テスト、私大入試問題 等

2 使用教科書、補助教材、プリント等

東京書籍 攻略！共通テスト数学Ⅰ+A, Ⅱ+B Pick Up128

3 評価の方法

大学入試における頻出事項を理解しているか、計算が正しくできているかを定期考査の結果を中心に、平素の授業態度や出席状況、及び提出物等を考慮の上に評価する。

令和5年度 年間授業計画

学年	教科名	科目名（講座名）	単位数
3	理科	物理基礎（必修選択物理）	2
担当教員			予定時数
伊藤			60

1 年間授業計画

	学 習 単 元	予定時数	学 習 内 容 ・ 指 導 目 標 等
1 学 期	・力学	12	・落体の運動，力のつりあい，運動の法則，剛体にはたらく力のつりあい，仕事と力学的エネルギー，運動量の保存，等速円運動・慣性力，単振動，万有引力の演習問題を行う
	・熱力学	14	・熱とエネルギー，気体の法則，気体分子の運動 気体の状態変化の演習問題を行う
2 学 期	・波動	14	・波の性質，正弦波の式，音の伝わり方と発音体の振動，ドップラー効果，光の性質・レンズ，光の干渉と回折の演習問題を行う
	・電磁気	14	・静電気力と電場・電位，コンデンサー，電流，直流回路，電流と磁場，電磁誘導，交流と電気振動の演習問題を行う
3 学 期	・原子	6	・電子と光，原子と原子核，エネルギーとその利用の演習問題を行う

2 使用教科書、補助教材、プリント等

使用教科書「高等学校 改訂物理」第一学習社 補助教材 「スタディノート 物理」第一学習社 担当者作成プリント
--

3 評価の方法

出席状況、授業態度など授業に対する取り組みや課題の提出状況で意欲・関心・態度を評価する。 課題プリント、他者への説明などをもとに、知識・理解の度合いを総合的に評価する。

令和5年度 年間授業計画

学年	教科名	科目名（講座名）	単位数
3	理科	物理（必修選択物理）	4
担当教員			予定時数
伊藤			120

1 年間授業計画

	学 習 単 元	予定時数	学 習 内 容 ・ 指 導 目 標 等
1 学 期	・力学	25	・落体の運動，力のつりあい，運動の法則，剛体にはたらく力のつりあい，仕事と力学的エネルギー，運動量の保存，等速円運動・慣性力，単振動，万有引力
	・熱力学	28	・熱とエネルギー，気体の法則，気体分子の運動 気体の状態変化
2 学 期	・波動	26	・波の性質，正弦波の式，音の伝わり方と発音体の振動，ドップラー効果，光の性質・レンズ，光の干渉と回折
	・電磁気	28	・静電気力と電場・電位，コンデンサー，電流，直流回路，電流と磁場，電磁誘導，交流と電気振動
3 学 期	・原子	13	・電子と光，原子と原子核，エネルギーとその利用 ・各大学入試の過去問題

2 使用教科書、補助教材、プリント等

使用教科書「高等学校 改訂物理」第一学習社
 補助教材 「スタディノート 物理」第一学習社
 担当者作成プリント

3 評価の方法

出席状況、授業態度など授業に対する取り組みや課題の提出状況で意欲・関心・態度を評価する。
 課題プリント、定期考査の得点をもとに、知識・理解の度合いを総合的に評価する。

令和5年度 年間授業計画

学年	教科名	科目名（講座名）	単位数
3	理科	物理演習（自由選択科目）	2
担当教員			予定時数
伊藤			60

1 年間授業計画

	学 習 単 元	予定時数	学 習 内 容 ・ 指 導 目 標 等
1 学 期	・力学	12	・落体の運動，力のつりあい，運動の法則，剛体にはたらく力のつりあい，仕事と力学的エネルギー，運動量の保存，等速円運動・慣性力，単振動，万有引力の演習問題を行う
	・熱力学	14	・熱とエネルギー，気体の法則，気体分子の運動 気体の状態変化の演習問題を行う
2 学 期	・波動	14	・波の性質，正弦波の式，音の伝わり方と発音体の振動，ドップラー効果，光の性質・レンズ，光の干渉と回折の演習問題を行う
	・電磁気	14	・静電気力と電場・電位，コンデンサー，電流，直流回路，電流と磁場，電磁誘導，交流と電気振動の演習問題を行う
3 学 期	・原子	6	・電子と光，原子と原子核，エネルギーとその利用の演習問題を行う。 ・各大学入試の過去問題

2 使用教科書、補助教材、プリント等

使用教科書「高等学校 改訂物理」第一学習社
 補助教材 「スタディノート 物理」第一学習社
 担当者作成プリント

3 評価の方法

出席状況、授業態度など授業に対する取り組みや課題の提出状況で意欲・関心・態度を評価する。
 課題プリントをもとに、知識・理解の度合いを総合的に評価する。

令和5年度 年間授業計画

学年	教科名	科目名（講座名）	単位数
3	理科	化学基礎	2
担当教員			予定時数
竹内 一仁			70

1 年間授業計画

	学 習 単 元	予定時数	学 習 内 容 ・ 指 導 目 標 等
1 学 期	<化学と人間生活> (演習・実習) <物質の成り立ち> ・物質の探求(演習・実習)	15	・物質の性質と分離 ・物質の成分
	・物質の構成粒子 (演習・実習)	15	・原子の構造 ・電子配置と周期表
2 学 期	・物質と化学結合 (演習・実習) <物質の変化> ・物質と化学変化 (演習・実習)	15	・イオンとイオン結合 ・金属と金属結合 ・分子と共有結合 ・原子量・分子量と物質質量 ・化学変化の量的関係
	・酸と塩基 (演習・実習)	15	・酸と塩基 ・水素イオン濃度とpH ・中和反応と塩の生成 ・中和反応の量的関係と中和滴定
3 学 期	・酸化と還元 (演習・実習)	10	・酸化と還元 ・酸化還元反応の利用

2 使用教科書、補助教材、プリント等

使用教科書「改訂新化学基礎」第一学習社
 補助教材 「ネオパルノート化学基礎」第一学習社、「セミナー化学基礎+化学」第一学習社、

3 評価の方法

出席状況、授業態度など授業に対する取り組みや課題の提出状況で意欲・関心・態度を評価する。
 実験プリント、定期考査の得点、ノート点検を行い、知識・理解の度合いを総合的に評価する。

令和5年度 年間授業計画

学年	教科名	科目名（講座名）	単位数
3	理科	化学	4
担当教員			予定時数
川守田 淳			140

1 年間授業計画

	学 習 単 元	予定時数	学 習 内 容 ・ 指 導 目 標 等
1 学 期	物質の状態 気体の性質	30	物質の三態 ボイル、シャルルの法則および気体の状態方程式 希薄溶液の性質およびコロイドの性質 固体の結晶構造
	溶液の性質 固体の構造 化学反応と熱・光 化学反応の速さと化学平衡	30	熱化学方程式 反応速度 化学平衡
2 学 期	有機化合物	30	有機化合物の基礎 脂肪族化合物 芳香族化合物
	無機物質	30	非金属元素 典型金属元素 遷移元素
3 学 期	無機物質と人間生活	20	金属 セラミックス

2 使用教科書、補助教材、プリント等

東京書籍 改訂化学
第一学習社 セミナー化学基礎+化学

3 評価の方法

出席状況、授業態度など授業に対する取り組みや課題の提出状況で意欲・関心・態度を評価する。
実験プリント、定期考査の得点、ノート点検を行い、知識・理解の度合いを総合的に評価する。

令和5年度 年間授業計画

学年	教科名	科目名（講座名）	単位数
3	理科	化学基礎（自選化学演習）	2
担当教員			予定時数
竹内 一仁			70

1 年間授業計画

	学 習 単 元	予定時数	学 習 内 容 ・ 指 導 目 標 等
1 学 期	<物質の変化> ・酸化と還元 (演習・実習)	15	・酸化と還元 ・酸化還元反応の利用
	<物質の成り立ち> ・物質の探求(演習・実習) ・物質の構成粒子 (演習・実習)	15	・物質の性質と分離 ・物質の成分 ・原子の構造 ・電子配置と周期表
2 学 期	・物質と化学結合 (演習・実習) <物質の変化> ・物質量と化学変化 (演習・実習)	15	・イオンとイオン結合 ・金属と金属結合 ・分子と共有結合 ・原子量・分子量と物質量 ・化学変化の量的関係
	・酸と塩基 (演習・実習)	15	・酸と塩基 ・水素イオン濃度とpH ・中和反応と塩の生成 ・中和反応の量的関係と中和滴定
3 学 期	<化学と人間生活> (演習・実習)	10	・化学基礎のまとめ

2 使用教科書、補助教材、プリント等

使用教科書「センサー化学基礎改訂版」啓林館
補助教材 第一学習社 セミナー化学基礎+化学、

3 評価の方法

出席状況、授業態度など授業に対する取り組みや課題の提出状況で意欲・関心・態度を評価する。
実験プリント、ノート点検を行い、知識・理解の度合いを総合的に評価する。

令和5年度 年間授業計画

学年	教科名	科目名	単位数
3年	生物基礎	生物基礎	2
担当教員			予定時数
太田 雄一郎			70

1 年間授業計画

	学 習 単 元	予定時数	学 習 内 容 ・ 指 導 目 標 等
1 学 期	生物の特徴	14	・細胞の構造とはたらき、ATPの構造と機能、光合成と呼吸の反応についての小テスト、問題演習 ・原形質流動の観察(マイクロメーター)
	遺伝子とそのはたらき	16	・DNAの構造、複製の仕組み(細胞分裂)、タンパク質合成の仕組みについての小テスト、問題演習 ・だ腺染色体の観察
2 学 期	ヒトの体の調節	16	・血液の循環、自律神経とホルモンの作用、肝臓と腎臓のはたらき、免疫の仕組みについての小テスト、問題演習
	生物の多様性と生態系	14	・植物の遷移、気候とバイオームの関係、生態系における炭素や窒素の循環についての小テスト、問題演習
3 学 期	まとめ	10	入試問題を意識した演習を行う。 共通試験レベルの問題を6割得点できることを目標とする。

2 使用教科書、補助教材、プリント等

使用教科書「改訂新編生物基礎」東京書籍
補助教材「ニューステージ生物図表」浜島書店 「新編センサー生物基礎四訂版」啓林館

3 評価の方法

出席状況、授業態度など授業に対する取り組みや課題の提出状況で意欲・関心・態度を評価する。
実験プリント、定期考査の得点、ノート点検を行い、知識・理解の度合いを総合的に評価する。

令和5年度 年間授業計画

学年	教科名	科目名（講座名）	単位数
3年	生物基礎	自選生物基礎演習	2
担当教員			予定時数
荒島 裕光			70

1 年間授業計画

	学 習 単 元	予定時数	学 習 内 容 ・ 指 導 目 標 等
1 学 期	生物の特徴	14	・細胞の構造とはたらき、ATPの構造と機能、光合成と呼吸の反応についての小テスト、問題演習 ・原形質流動の観察(マイクロメーター)
	遺伝子とそのはたらき	16	・DNAの構造、複製の仕組み(細胞分裂)、タンパク質合成の仕組みについての小テスト、問題演習 ・だ腺染色体の観察
2 学 期	ヒトの体の調節	16	・血液の循環、自律神経とホルモンの作用、肝臓と腎臓のはたらき、免疫の仕組みについての小テスト、問題演習
	生物の多様性と生態系	14	・植物の遷移、気候とバイオームの関係、生態系における炭素や窒素の循環についての小テスト、問題演習
3 学 期	まとめ	10	入試問題を意識した演習を行う。 共通試験レベルの問題を6割得点できることを目標とする。

2 使用教科書、補助教材、プリント等

使用教科書「改訂新編生物基礎」東京書籍
補助教材「ニューステージ生物図表」浜島書店 「新編センサー生物基礎 四訂版」啓林館

3 評価の方法

出席状況、授業態度など授業に対する取り組みや課題の提出状況で意欲・関心・態度を評価する。
実験プリント、定期考査の得点、ノート点検を行い、知識・理解の度合いを総合的に評価する。

令和5年度 年間授業計画

学年	教科名	科目名（講座名）	単位数
3年	理科	生物	4
担当教員			予定時数
太田 雄一郎			140

1 年間授業計画

	学習単元	予定時数	学習内容・指導目標等
1 学期	○生命現象と物質 ・生命現象を支えるタンパク質 ・代謝とエネルギー	28	生命現象は物質の働きによって支えられているが、生命現象とそれを支える物質とそれによって起こる代謝について学び、関連する問題演習や実習等を行う。
	○遺伝子のはたらき ・DNAの構造と複製 ・遺伝情報の発現と調節	32	生物の「設計図」である遺伝子のしくみについて、その構造と複製、タンパク質の合成とその調節などを学び、関連する問題演習や実習等を行う。
2 学期	○生殖と発生 ・有性生殖 ・動物・植物の生殖と発生	32	生物は生殖によって生命を連続させているが、生殖の仕組みや受精卵が成体になる仕組みを学び、そのことに関する問題演習や実習等を行う。
	○生物の環境応答 ・動物の反応と行動 ・植物の環境応答	28	動物や植物に関するホルモン、感覚器官、神経器官、光受容体などについて、その仕組みと働きを学び、そのことに関する問題演習や実習等を行う。
3 学期	○生態と環境 ・生物の生活と環境 ・個体群と遷移とそのしくみ	12	生物が環境の中でどのように生活しているかを中心に、生物と環境の相互作用などについて学び、そのことに関する問題演習や実習等を行う。
	○生物の進化と系統 ○1年間のまとめ	8	地球上の多様な生物が進化の過程の中で出現したこと、また進化の仕組みなどについて学び・理解する。1年間のまとめを行う。

2 使用教科書、補助教材、プリント等

『スタンダード生物』 東京書籍	『ニューサポート スタンダード生物』 東京書籍
-----------------	-------------------------

3 評価の方法

定期考査および提出課題・実験実習レポート・出席状況・授業態度等により総合的に評価する。

令和5年度 年間授業計画

学年	教科名	科目名（講座名）	単位数
3年	生物基礎	自選生物演習	2
担当教員			予定時数
荒島 裕光			70

1 年間授業計画

	学 習 単 元	予定時数	学 習 内 容 ・ 指 導 目 標 等
1 学 期	生物の特徴	14	・細胞の構造とはたらき、ATPの構造と機能、光合成と呼吸の反応についての入試問題を中心とした問題演習 ・原形質流動の観察(マイクロメーター)
	遺伝子とそのはたらき	16	・DNAの構造、複製の仕組み(細胞分裂)、タンパク質合成の仕組みについての入試問題を中心とした問題演習 ・だ腺染色体の観察
2 学 期	ヒトの体の調節	16	・血液の循環、自律神経とホルモンの作用、肝臓と腎臓のはたらき、免疫の仕組みについての入試問題を中心とした問題演習
	生物の多様性と生態系	14	・植物の遷移、気候とバイオームの関係、生態系における炭素や窒素の循環についての入試問題を中心とした問題演習
3 学 期	まとめ	10	生物基礎全般を通じて、入試問題を中心とした問題演習を行う。 共通試験レベルの問題を7割得点できることを目標とする。

2 使用教科書、補助教材、プリント等

使用教科書「改訂新編生物基礎」東京書籍
 補助教材「ニューステージ生物図表」浜島書店 「改訂セミナー 生物基礎+生物」第一学習社

3 評価の方法

出席状況、授業態度など授業に対する取り組みや課題の提出状況で意欲・関心・態度を評価する。
 実験プリント、定期考査の得点、ノート点検を行い、知識・理解の度合いを総合的に評価する。

令和5年度 年間授業計画

学年	教科名	科目名（講座名）	単位数
3年	保健体育	体育	3単位
担当教員			予定時数
金子 瑞、日向 円、茶川剛史、福田慎也、松原 春佳、木藤ひろみ、澤田繁			60時間

1 年間授業計画

	学 習 単 元	予定時数	学 習 内 容 ・ 指 導 目 標 等
1 学 期	1単位 男子 バレーボール アルティメット 女子 アルティメット バスケットボール	24時間	・球技種目はグループ学習により生徒の自主性を重視し実施する。
	2単位…種目選択制授業 テニス ソフトボール バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球		・2単位分の授業については男女共修の種目選択授業とし、グループ学習を実施することで生徒の自主性を尊重し授業を展開していく。
2 学 期	1単位 男子 サッカー・アルティメット バドミントン 女子 バスケットボール サッカー	33時間	・球技種目はグループ学習により生徒の自主性を重視し実施する。
	2単位…種目選択制授業 テニス ソフトボール バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球		・2単位分の授業については男女共修の種目選択授業とし、グループ学習を実施することで生徒の自主性を尊重し授業を展開していく。
3 学 期	1単位 男子 バドミントン 女子 サッカー	3時間	・球技種目はグループ学習により生徒の自主性を重視し実施する。
	2単位…種目選択制授業 テニス ソフトボール バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球		・2単位分の授業については男女共修の種目選択授業とし、グループ学習を実施することで生徒の自主性を尊重し授業を展開していく。

2 使用教科書、補助教材、プリント等

補助教材はデジタル版ステップアップ高校スポーツ。プリントは各担当が作成。

3 評価の方法

評価は観点別評価とスキルテストを参考にする。

令和5年度 年間授業計画

学年	教科名	科目名（講座名）	単位数
3年	保健体育	発展体育①	2単位
担当教員			予定時数
澤田 繁			44時間

1 年間授業計画

	学 習 単 元	予定時数	学 習 内 容 ・ 指 導 目 標 等
1 学 期	サッカー ソフトボール	18時間	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的学習をもとに専門的発展的な技能/体力を身に付ける。 ・種目の特性を理解し、練習計画を立て実践する力を身に付け、リーダーシップ力を高める。 ・生徒の自主性を育てる。
2 学 期	バレーボール バスケットボール	26時間	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的学習をもとに専門的発展的な技能/体力を身に付ける。 ・種目の特性を理解し、練習計画を立て実践する力を身に付け、リーダーシップ力を高める。 ・生徒の自主性を育てる。
3 学 期			※授業実施なし

2 使用教科書、補助教材、プリント等

補助教材は特になし。プリントは各担当が作成。

3 評価の方法

評価は観点別評価とスキルテストを参考にする。

令和元年度 年間授業計画

学年	教科名	科目名（講座名）	単位数
3年	(外国語)英語	コミュニケーション英語I（自由選択 応用英語演習）	2
担当教員			予定時数
柴田			70

1 年間授業計画

	学 習 単 元	予定時数	学 習 内 容 ・ 指 導 目 標 等
1 学 期	Change the World advanced UNIT 1～4 Next Stage Winning Spirit 1～5	15	生態。騒音、小説。世界遺産 英文法・語法
	Change the World advanced UNIT 5～9 Next Stage Winning Spirit 6～10	15	手助け、記憶、画家、教育、文化・アメリカ 英文法・語法
2 学 期	Change the World advanced UNIT 10～15 Next Stage Winning Spirit 11～15	20	温暖化、遺伝子、人生、文化・イギリス、道徳観、 虫の意識 英文法・語法
	Change the World advanced UNIT 16～18 Next Stage Winning Spirit 16～17	20	言語、エネルギー、乱獲 英文法・語法
3 学 期			

2 使用教科書、補助教材、プリント等

Change the World advanced（いいずな書店） Next Stage Winning Spirit（桐原書店） Next Stage（桐原書店）
--

3 評価の方法

定期考査・小テストの結果、課題提出の状況、学習態度などから総合的に評価する。
--

令和5年度 年間授業計画

学年	教科名	科目名（講座名）	単位数
3 学年	外国語（英語）	コミュニケーション英語Ⅲ	4 単位
担当教員			予定時数
風見、柴田、金子、世良			1 4 0

1 年間授業計画

	学 習 単 元	予定	学 習 内 容 ・ 指 導 目 標 等
1 学 期	教科書 Reading Focus Lesson 1 教科書 Lesson 1 教科書 Reading Focus Lesson 2 教科書 Lesson 2	26	意味のまとめり 説明文・文の構造 表現の言い換え 説明文・例示・列挙
	教科書 Reading Focus Lesson 3 教科書 Lesson 3 教科書 Reading Focus Lesson 4 教科書 Lesson 4	32	段落内の構成 説明文・時間的順序 時間的順序 論説文・比較・対照
2 学 期	教科書 Reading Focus Lesson 5 教科書 Lesson 5 教科書 Reading Focus Lesson 6 教科書 Lesson 6	34	例示・列挙 説明文・問題点と解決策 原因・結果 説明文・原因・結果
	教科書 Reading Focus Lesson 7 教科書 Lesson 7 教科書 Lesson 8	32	比較・対照 論説文・Challenge 論説文・Challenge
3 学 期	Reading	4	物語・登場人物の心理の変化

2 使用教科書、補助教材、プリント等

<p>【教科書】 World Trek English Communication Ⅲ （桐原書店）</p> <p>【補助教材】 World Trek English Communication Ⅲ ワークブック （桐原書店）</p> <p>Listening Sparkle standard （文英堂）、Listening Sparkle standard ペアワーク Note （文英堂）</p> <p>Reading Sparkle standard （文英堂）、英単語 Stock 4500 （文英堂）</p> <p>・担当者作成ワークシート</p>
--

3 評価の方法

定期考査、小テスト、課題提出、授業参加態度、学習態度等を総合的に評価する。

令和5年度 年間授業計画

学年	教科名	科目名（講座名）	単位数
3	(外国語) 英語	英語表現 I (英会話)	2
担当教員			予定時数
風見・ALT・JET			40

1 年間授業計画

	学 習 単 元	予定時数	学 習 内 容 ・ 指 導 目 標 等
1 学 期	Unit1 This is Fun! Unit2 Out and About Unit3 Mother Nature	10	Discussing likes and dislikes Making arrangements Agreeing and disagreeing
	Unit4 TV and movies Unit5 Happy Ending? Unit6 Travel Tales	10	Expressing disbelief Expressing sympathy Asking questions at the train station
2 学 期	Unit7 What's cooking? Unit8 At home	6	Asking questions in a grocery store Giving advice
	Unit9 Danger! Unit10 High Tech Unit11 Material world	12	Talking about experience Asking questions in an electronic store Describing a lost object
3 学 期	Unit12 Disaster!	2	Talking about the future

2 使用教科書、補助教材、プリント等

Get Ahead Student Book 2 (Oxford University Press)

担当者作成教材

3 評価の方法

スピーチ・発表、小テスト（口語表現や復習内容）、提出物、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度などについて総合的に評価を行う。

令和5年度 年間授業計画

学年	教科名	科目名（講座名）	単位数
3	英語	英語表現Ⅱ（文系）	3
担当教員			予定時数
柴田、風見、関本、古見			105

1 年間授業計画

	学 習 単 元	予定時数	学 習 内 容 ・ 指 導 目 標 等
1 学 期	Lesson1, 2, 3, Plus1, Lesson4, 5, 6, 7, Plus2、Extra1, 2	22	文型、時制、完了形
	Lesson8, 9, 10, Plus3, Lesson11, Plus4, Lesson12, 13, 14, Plus5、Extra3	22	助動詞、受動態。不定詞。
2 学 期	Lesson15, Plus6, Lesson16, 17, Plus7, Lesson18, 19, 20, Plus8、Extra6, 7	22	動名詞、分詞、関係詞
	Lesson21, 22, Plus9, Lesson23, 24, Plus10、Extra8, 9	22	比較、仮定法
3 学 期			

2 使用教科書、補助教材、プリント等

Vision Quest English Grammar 24（啓林館）、Vision Quest English Grammar 24 Work Book（啓林館）、スクランブル英文法・語法 Basic（旺文社）

3 評価の方法

定期考査、宿題テスト、小テスト、学習態度などを総合的に評価する。

令和5年度 年間授業計画

学年	教科名	科目名（講座名）	単位数
3	英語	英語表現Ⅱ（理系）	2
担当教員			予定時数
柴田、長尾			70

1 年間授業計画

	学 習 単 元	予定時数	学 習 内 容 ・ 指 導 目 標 等
1 学 期	Lesson1, 2, 3, Plus1, Lesson4, 5, 6, 7, Plus2	15	文型、時制、完了形
	Lesson8, 9, 10, Plus3, Lesson11, Plus4, Lesson12, 13, 14, Plus5	15	助動詞、受動態。不定詞。
2 学 期	Lesson15, Plus6, Lesson16, 17, Plus7, Lesson18, 19, 20, Plus8	20	動名詞、分詞、関係詞
	Lesson21, 22, Plus9, Lesson23, 24, Plus10	20	比較、仮定法
3 学 期			

2 使用教科書、補助教材、プリント等

Vision Quest English Grammar 24（啓林館）、Vision Quest English Grammar 24 Work Book（啓林館）、スクランブル英文法・語法 Basic（旺文社）

3 評価の方法

定期考査、宿題テスト、小テスト、学習態度などを総合的に評価する。

令和5年度 年間授業計画

学年	教科名	科目名（講座名）	単位数
3	情報科	情報の科学（自由選択）	2
担当教員			予定時数
椋本 哲也			60

1 年間授業計画

	学 習 単 元	予定時数	学 習 内 容 ・ 指 導 目 標 等
1 学 期	・ 各自の課題	12	・ 生徒各自の設定した課題への取組み －画像編集 －プログラミング －動画編集 －データ分析
		14	・ 同上
2 学 期	・ 各自の課題	14	・ 同上 ・ 文化祭において中間成果発表
		14	・ 同上
3 学 期	・ 各自の課題	6	・ 最終成果発表

2 使用教科書、補助教材、プリント等

使用教科書「情報の科学」実教出版 補助教材 なし

3 評価の方法

各自で取り組む課題に対して、取組状況・中間発表・最終成果発表を以って評価する。
